



Today's Topics

- 1 日々の健康観察でチェックすべきポイント
- 2 馬の疾病
(下肢部の皮膚疾患、筋肉の疾患、熱中症、疝痛)
- 3 栄養管理について
- 4 飼養衛生管理基準について
- 5 ワクチンプログラムについて

3

日々の健康観察で チェックすべきポイント

4



正常馬の健康状態

- 体温（直腸温）：37.5℃～38.4℃
→若馬では高く、老齡馬では低くなる
→毎日朝夕2回の検温が推奨
- 安静時心拍数：26拍～50拍/分
→若馬では多く、老齡馬では少なくなる
→興奮、疼痛、運動で変動（最大200拍/分以上）
→聴診器、表在動脈の触知
- 安静時呼吸数：10回～14回/分
→運動後、暑熱環境下、発熱、疼痛に伴い増加



5



正常馬の健康状態

- 粘膜色：淡いピンク色
→全身の血液循環の指標
→貧血で灰白色
→循環障害で青紫色～潮赤色（チアノーゼ）
→CRT（毛細血管再充填時間）=1.0秒～1.5秒
口腔粘膜を5～6秒間指で押し、離す
- 皮膚や被毛
→テントテスト=2.0秒～3.0秒 皮膚を指でつまんで離す
→痂皮、擦過傷、脱毛（皮膚疾患）

6



正常馬の健康状態



- 尿：3～8.5L 淡黄色～褐色
- 糞便：15～25kg 黄茶色～黄暗緑色
- 腸蠕動音：小腸部で8～12回/分
大腸部で4～6回/分
→便秘では減、下痢では増、金属音は風気疝？
- 顔面
 - ・眼 開き、眼脂、角膜の傷・白濁、結膜充血
 - ・鼻 鼻汁（色やにおい）、出血
 - ・口 流涎、食べこぼし、口角の傷や腫れ
 - ・耳 垂れ下がっていないか、滲出物がないか
 - ・下顎リンパ節 腫脹がないか

7



疾病別の異常ポイント

- 運動器疾患
 - 跛行、関節等の腫脹、負重変化、姿勢異常
- 呼吸器病（感染症）
 - 外貌→元気消沈、発咳、鼻汁、浮腫（循環障害）
 - バイタル→発熱、呼吸速拍、心拍増
- 消化器病
 - 外貌→食欲不振、元気消沈/悶絶、腹部膨満・注視
 - バイタル→心拍増、呼吸速拍
 - その他→排糞異常（便秘/下痢）
- 神経症状
 - 外貌→元気消沈、震戦、狂騒、異常歩様（腰菱症状）

8



馬の検査：①視診・触診

- 外貌や馬の反応から患部がどこかを推察
- 腫脹・帯熱・疼痛がないか評価
- 関節は屈曲時や捻転時の疼痛も確認
- 蹄の炎症を疑う場合は指動脈拍もチェック



9



馬の検査：②聴診

- 胸部の聴診
 - ・心音聴取：心拍数、心雑音、不整脈
 - ・呼吸音聴取：普段は無音に近いが、肺炎時は雑音や努力性呼吸
- 腹部の聴診：腸蠕動音、ガスの貯留音



10